

北陸支部報

2015/1/15
第4号



目次

年頭のご挨拶	鹿田正昭……………2
年頭のご挨拶	益子 栄……………3
北陸支部役員会開催される……………4	
「公共測量講習会（新潟会場）」開催される……………4	
講習会の開催……………5	
行事等の報告……………6	
会員の状況（平成26年11月末現在）……………8	
日本測量協会小石川事務所の移転について……………8	
平成27年度北陸支部事業計画（案）……………9	
北陸支部空間情報技術事例発表会発表者募集……………10	
北陸新幹線！この春開業！……………11	



公益社団法人

日本測量協会 北陸支部

年頭のご挨拶



(公社) 日本測量協会北陸支部長
鹿田 正昭

新年明けまして、おめでとうございます。

平成 27 年 (2015 年) の年頭にあたり、皆様とともに謹んで新春をお祝いいたします。

日本測量協会北陸支部の皆様方には平素から測量系を含む地理空間情報を中心として、多くのご支援とご協力を賜っておりますことに対し衷心より厚く御礼を申し上げます。

さて、平成 25 年に当協会が公益社団法人として新たに出発したことから、去年は支部活動の活性化を図るため、業務報告会を北陸支部 4 県の持ち回りとする事、村井俊治会長が協会の使命として掲げられた人材育成、つまり、若い技術者の方々に発表の機会を持ち自己研鑽に努めてもらうことを目的に「北陸支部空間情報技術事例発表会」を企画・提案し、役員会の了承を得て実行することができました。

記念となる第 1 回の発表会は 7 月 17 日 (木) に新潟市内の新潟第一ホテルにおいて開催され、80 名を超える会員の皆様方の参加をいただくことができました。新潟県に拠点を置く企業を中心に 7 件の発表があり、最優秀発表賞に株式会社ナカノアイシステム浅田律子さん (統合型 GIS における広域地図の変遷—空間データ基盤から地理院地図まで—)、優秀発表賞に金井度量衡株式会社吉田雄一さん (安心安全なマルチロータヘリと空撮コンテンツの研究開発) が選ばれました。

「北陸支部空間情報技術事例発表会」は自己啓発のために発表していただくことが主たる目的ではありますが、入賞者および発表者には協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」へ積極的に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介するとともに更なる研鑽を積んでいただくことが最大の目的であります。今年は富山県が開催地として決定していますが、富山県内の方々はもとより、北陸支部すべての地区から積極的な参加および投稿を期待しています。さらに、北陸支部にある大学・高専・短大・専門学校等の学生の方々にも積極的に参加していただきたいと思っています。

以上のように、去年は会員の皆様方のご支援により新しい企画を実行に移すことができました。ここに改めて会員の皆様方の真摯な取り組みに深く感謝申し上げます。

最後になりましたが、日本測量協会および北陸支部の益々の発展と会員皆様方のご健勝とご活躍、さらにご家族の皆様のご多幸を祈念して、年頭のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

金沢工業大学環境・建築学部
環境土木工学科 教授

年頭のご挨拶



北陸地方測量部長 益子 栄

平成 27 年の新春を迎え、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

(公社)日本測量協会北陸支部ならびに会員の皆様方には、平素より国土地理院の測量業務や測量行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

2014 年を振り返りますと、想定外の豪雨などによる甚大な自然災害が全国各地で頻発しました。8 月の広島県広島市の豪雨による土砂災害、9 月末には御嶽山噴火で多くの犠牲者がでたことは記憶に新しいところです。国土地理院は災害対策基本法に基づく政府の指定行政機関ですので、広島市の土砂災害では、防災関係機関に対し被災地周辺の発災前後の空中写真、災害対策用の地図、被害状況を表した災害状況図や土砂流出箇所を表示した 3D 地図等を提供しました。これら国土地理院の一連の災害対応に対して、自衛隊や広島市をはじめ多くの防災関係機関から「お礼」の言葉をいただくなど、評価をいただきました。北陸地方測量部としましても、管内での災害発生時には国土地理院の出先として防災関係機関との連携を図りつつ、迅速にこれらの情報を提供したいと考えております。

さて、国土地理院は、昨年 4 月、基本測量に関する長期計画を新たに策定しました。この長期計画は、今後 10 年間に国土地理院が行うこととされている測量に関する計画です。計画の基本方針は、国土環境が良好に保たれる社会、安全で安心できる社会、近年関心が高まっている行政の透明化や効率化・高度化等へのニーズの観点から、「地理空間情報の整備力・活用力の向上の全国レベルでの推進」、「新産業の創生や国民生活の利便性向上等のための行政機関などが保有する地理空間情報の流通・活用の促進」の 2 点を重点戦略と位置づけ、地理空間情報の活用重点を置いた施策を実施することとしています。これらの戦略を推進していくには国土地理院単独では不可能ですので、国、地方公共団体、民間、学界等と積極的に連携することが不可欠です。そして、その取組を支えるのは人材であることからセミナー・講演会などを通じた人材育成・知識の普及の取組等も実施して地理空間情報の整備・提供・活用を促進するとしています。

北陸地方測量部としましても、測量法及び地理空間情報活用推進基本法を軸に今年も地理空間情報の活用促進に関する北陸地方連絡会議を開催するなどして、業界、学界、国・地方公共団体と連携しながら測量行政機関としての役割を果たしていきたいと考えております。

会員の皆様方には、国土地理院の昨年 4 月に改正された基本測量の長期計画の主旨をご理解いただき、様々な機会を捉えて皆様方と今後とも情報交換・情報共有していきたいと考えております。引き続き、公共測量に関する講習会、測量の日関連行事や「とやまみんなの地図作品展」などにおいて、お力をお借りすることになるかと思っておりますので、何卒ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

最後になりましたが、(公社)日本測量協会北陸支部の益々のご発展と、会員の皆様方のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

北陸支部役員会開催される

北陸支部では、12月5日（金）に富山市の「ホテルグランテラス富山」で北陸支部役員会を開催しました。

師走に入ったこの時期は、何かと忙しくなり、全役員が揃う日が困難であり、9名の役員が出席されました。

この役員会は、平成26年度北陸支部の事業等の中間報告として行われているもので、事務局から講習会の実施状況や各種事業の報告或いは平成27年度の事業計画について説明を行いました。

上半期における事業では、各種支部主催講習会では、概ね予算上の参加予定者で講習会がされたこと。また、北陸支部業務報告会と初の開催となった北陸支部空間情報技術事例発表会が新潟市で開催され、報告会が50名、発表会が80名もの参加者で大変盛況であったこと。正会員が8年ぶりに500名に回復したこと等の報告を行いました。

平成27年度の事業計画案では、支部業務報告会と空間情報技術事例発表会を富山で行い、発表資料の提出については、若干の修正をすることとしました。講習会計画では、概ね例年の講習種目について開催地を変えて実施することとしています。

「公共測量講習会（新潟会場）」開催される

日本測量協会測量技術センターでは、「公共工事に伴う品質確保の促進に関する法律」（品確法・平成17年制定）、「地理空間情報活用推進基本計画」（平成24年策定）を受けて、国および地方公共団体等が作成する公共測量成果の地理空間情報の基盤データとしての利活用の推進をお手伝いするため、測量計画機関の公共測量担当者を対象として、公共測量への理解を深め、更に測量成果の品質確保を図ることを目的として「公共測量講習会」を毎年全国各地で開催しています。北陸地方では、11月26日（水）に新潟市の新潟テルサで「公共測量講習会（新潟会場）」を開催しました。北陸地方での開催は平成18年3月の富山市での開催以来8年ぶりになります。

参加者は、北陸及び関東地方整備局及び北陸農政局の国の機関、新潟県内の地域

図-1 参加機関の分類

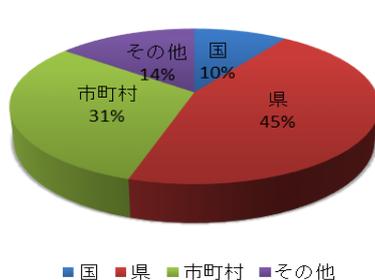
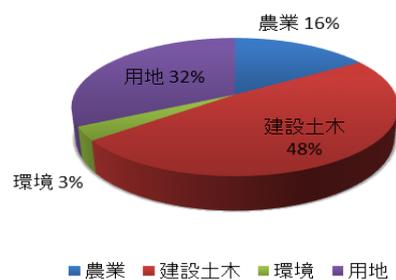


図-2 担当部署の分類



振興局、新潟市をはじめとする各市町村、さらには鉄道運輸機構、北陸電力、東日本旅客鉄道の公共測量を発注されている機関の担当者56名が参加されました。参加機関の分類は図-1及び図-2のとおりです。

当日のプログラムは国土地理院北陸地方測量部長の来賓挨拶につづき、北陸地方測量部の公共測量担当者による「公共測量及び公共測量の手続きについて」と題して、公共測量の実際と公共測量を実施する場合の各種届出の説明がありました。

測量技術センターの成果検定、品質確保担当者からは、「公共測量における基準点測量の実際」、「公共測量における地形測量及び写真測量の実際」として、最新の測量技術の概要説明と実際に成果検定で指摘される測量ミスや成果の誤り、その対処方法と防止策についての解説がされました。

最後に「公共測量成果の品質確保について」として公共測量を実施するにあたり、計画・設計、仕様書作成、監督・検査業務における成果の品質確保に関わる留意事項の説明と受入検査業務の補助的機能である第三者機関による測量成果検定についての説明が行われました。

参加者に行ったアンケートによると講習会内容についての回答では「満足」、「普通」が9割以上でした。次年度以降も内容をさらに充実させて北陸地方で継続的に「公共測量講習会」を開催していきたいと考えています。



講習風景

講習会の開催

○デジタルカメラを使った写真測量の応用（中級偏）

8月1日から2日まで石川県野々市市の金沢工業大学において、「デジタルカメラを使った写真測量の応用（中級偏）」講習会を、遠く北海道の参加者を含め、13名の参加で開催しました。

実習は屋外での写真撮影の際に猛暑となりましたが、昨年まで開催した「基礎編」から、今回はブラッシュアップし、即実務に活用できる内容のカリキュラムとしております。



野外撮影の様子



受講者の皆さん

○地理空間情報技術セミナー

9月9日富山市のボルファートとやまにおいて、「地理空間情報技術セミナー」を参加者27名により開催しました。このセミナーは、公益社団法人富山県測量設計業協会と共催で開催するもので、会員は無料で参加できるセミナーとなっています。測量協会では、会員の皆様に少しでも役に立てただけるセミナーを開催したいという思いから開催をしており、富山開催は初めてですが、今年で4年目の開催となります。冒頭、富山測量設計業協会佐渡会長に開会の挨拶をお願いいたしました。



地理空間情報技術セミナー

○測量・地図の中級講座

10月7から8日まで新潟県民会館において、「測量と地図の中級講座 GNS Sによる基準点測量」12名、9日から10日まで「同 TSによる基準点測量」10名により開催しました。この講習会は、実習、演習をメインにしており、信濃川の河川敷にある市の整備された公園を利用し、GNS Sは3班、TSは2班に分けて観測実習を行いました。



「TSによる基準点測量」



TS受講者の皆さん

行事等の報告

○とやまみんなの地図作品展を開催

とやま地図作品研究会は、11月22日(土)から24日(月)まで富山市のフューチャーシティ「ファボーレ」1Fときめきの広場において、「第8回とやまみんなの地図作品展」を開催しました。

この作品展は、今年度の入賞作品10点(小学生8点、中学生2点)を展示したもので、大型ショッピングモールとあって多くの買い物客らが足を止めて、児童生徒が夏休みに丹精込めて作成した力作に見入っていました。

初日の22日には、入賞者の表彰が会場内の研修室で行われ、中学生の2名を除

いた小学生の受賞者に賞状と記念品が手渡されました。

また、今回入賞された 10 作品の中から 9 作品（小学生 7 作品、中学生 2 作品）が、茨城県つくば市にある国土地理院の「地図と測量の科学館」で 1 月 10 日から開催される「第 18 回全国児童生徒地図優秀作品展」に出品されます。

この内、上平小学校 2 年生 11 名のグループ作品「五か山 5 つ星ガイドマップ」を、国土交通大臣賞、文部科学大臣賞の候補作品として推薦しました。



大西会長より賞を受ける上平小 2 年生代表



受賞者の皆さん

★《速報》全国展で審査員特別賞を受賞

とやま地図作品研究会から国土交通大臣賞、文部科学大臣賞候補作品として推薦した上平小学校 2 年生 11 名によるグループ作品が、12 月 18 日に国土地理院で開催された全国児童生徒地図作品展連絡協議会の選考会において、「審査員特別賞」を受賞しました。

当研究会では、昨年につき 2 年連続で、審査員特別賞を受賞したことになります。

[寸評]:この作品は、2 年生 11 名が町探検で、五箇山の素晴らしいと思ったところを五箇山の地図上に表記し、そのまわりに各人のそれぞれの感想が書かれています。この五箇山の素晴らしいところを多くの人に知ってもらおうと、地図もしっかりと描かれており、特産の和紙を使用したアイデアも評価されたものと思います。



審査員特別賞受賞作品

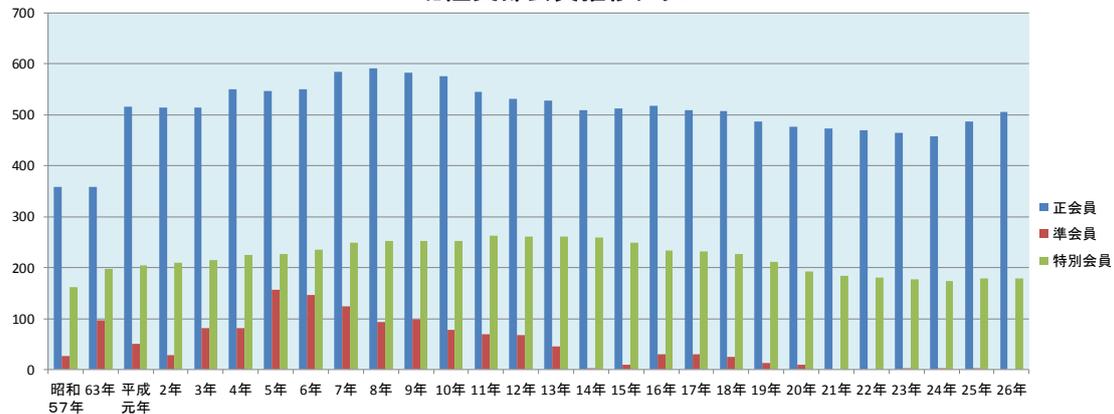
会員の状況（平成26年12月末現在）

	26.3末	26.12末	増減	新潟県		富山県		石川県		福井県	
正会員	487	506	+19	247	+10	109	+5	88	+3	62	+1
準会員	1	0	-1	0	±0	0	±0	0	-1	0	±0
特別会員	178	178	±0	80	±0	43	±0	35	±0	20	±0
合計	666	684	+18	327	+10	152	+5	123	+2	82	+1

（公社）日本測量協会北陸支部会員の推移

年度	支部 設立																											
	昭和57年	63年	平成元年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年
正会員	359	358	515	513	513	550	546	549	584	590	583	575	545	531	528	509	512	518	508	507	486	476	472	469	464	457	487	506
準会員	27	96	51	28	82	81	156	146	124	93	98	77	70	68	45	2	9	30	30	25	13	9	0	0	2	1	1	0
特別会員	162	197	204	210	214	224	227	235	248	253	252	253	262	261	260	259	248	234	231	226	212	192	183	180	177	174	178	178
合計	548	651	770	751	809	855	929	930	958	936	933	905	877	860	833	770	769	782	769	758	711	677	655	649	643	632	666	684

北陸支部会員推移グラフ



注)平成26年は12月末現在の数を示す。

日本測量協会小石川事務所の移転について

日本測量協会本部のある文京区小石川周辺は、「春日・後楽園駅前地区再開発事業」が平成27年4月より本格的に行われることにより、事務所のある測量会館が、平成27年3月に都営三田線「白山」駅から至近距離にある「白山NTビル」（文京区白山一丁目33番18号）3F～6Fに仮事務所を借り、移転することになりました。計画では、新ビル（北街区N-X）が完成する平成30年（2018年）4月までの間の仮住まいとなり、新ビル完成後は新ビル5Fの新しい事務所に再移転することになっています。

また、板橋区の測量会館2号館の測量技術センターについても、平成30年の同時期に茨城県つくば市にある当協会の土地に新しい社屋を建築させて、移転するための構想が今後具体化されていきます。

平成 27 年度北陸支部事業計画（案）

(1)北陸支部主催講習会計画

講 習 会 名	場 所	時 期(期間)
測量士答案練習セミナー(Web)	富山市	4月(4日間)
測量・地図の基礎講座 測量数学・誤差学の基礎(Web)	富山市	4月(1日間)
GNSSによる基準点測量	三条市	5月(1日間)
「簡易型技術提案書」対策講座	上越市	6月(2日間)
TSIによる3, 4級基準点測量及び水準測量	富山市	6月(1日間)
ネットワーク型RTK法による公共測量(実習有)	長岡市	6月(1日間)
路線測量・用地測量	福井市	7月(1日間)
公共基準点測量成果の取りまとめ	新潟市	7月(1日間)
公共測量技術講習会 ネットワーク型RTK法による基準点測量	金沢市	8月(1日間)
公共測量技術講習会 GNSS水準測量	金沢市	8月(1日間)
デジタルカメラを使った写真測量(応用・野外偏)	長岡市	8月(2日間)
地理空間情報技術セミナー<会員無料>	長岡市	9月(1日間)
測量士補答案練習セミナー(Web)	富山市	3月(4日間)

※会員無料のイブニングセミナー、公開講座のWeb開催を随時行う。

本 部 主 催 講 習 会 予 定	場 所	開 催 時 期
基準点測量B課程(基準点測量コース) (実習なし)	金沢市	4月(7日間)
用地測量設計(Iコース)(Web)	富山市	5月(5日間)
用地測量設計(IIコース)(Web)	富山市	7月(5日間)

(2)行 事 等 計 画

○北陸支部業務報告会	富山市	6月末
○北陸支部空間情報技術事例発表会	富山市	6月末
○北陸支部役員会	富山市	6月上旬・12月上旬

(3)北陸支部報・北陸支部通信

○北陸支部報
平成26年度と同様に7月及び1月にWebによる刊行を行う。
○北陸支部通信
会員への情報伝達手段として、メルマガ「北陸支部通信」を引き続き月1回のペースで配信する。
○ホームページ(測量情報館)のWebサイト「支部からのお知らせ」
会員への情報伝達手段として、「支部からのお知らせ」欄を充実させ、活用を図っていく。

北陸支部空間情報技術事例発表会発表者募集

支部では、平成 27 年度も空間情報技術者の育成と空間情報技術の一層の普及及び情報共有を図ることを目的として、「空間情報技術事例発表会」を開催することになりました。

また、この発表会は、測量協会本部が募集をしている「空間情報技術事例報告集」に投稿していただき、北陸支部における空間情報技術者の活躍を紹介することも目的の一つとなっていますので、富山在住者に限らず北陸支部管内の技術者、学生の皆さんの積極的なご応募をお願いします。

1. 募集内容

発表者自身の業務上の体験及び研究成果や日頃感じている問題点等の空間情報（地理空間情報及び測量を含む。）に関係した内容とする。

2. 応募対象者

北陸支部管内の空間情報技術者又は空間情報関係の学生等で、概ね 40 才未満の者とする。

3. 発表時間

一課題の発表は、質疑応答を含め 20 分以内とする（発表 15 分、質疑 5 分）

4. 発表日時及び場所（予定）

日時：6 月 30 日(火)15:00～

場所：富山市(会場未定)

5. 応募

(1) 発表希望者は、3 月末までに北陸支部事務局に所属、氏名、年齢、発表名を申し出る。

(2) その後、発表の決定を受けた者は、5 月末までに発表する内容の概要（要点：200～300 文字）を北陸支部事務局にメールで提出する。

(3) 発表当日の資料(別途標準様式により作成)は、事前（10 日前まで）に北陸支部事務局にメールで提出する。

6. 表彰

審査の結果、優れた発表者に対しては、賞状及び副賞を授与する。

《問合せ・応募先》

公益社団法人日本測量協会北陸支部 担当：名取

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 測量会館

TEL 076-422-3305 FAX 076-422-3403

E-mail:natori@jsurvey.jp

北陸新幹線！ この春開業！

いよいよ北陸新幹線（長野・金沢間）が、3月14日（土）に開業します。

東京・富山間を2時間8分、東京・金沢間を2時間28分で結び、速達タイプの「かがやき」は毎日13往復で朝夕に運行が集中されている。停車駅の多い「はくたか」は毎日14往復でほぼ1時間に1本走ることになっている。「かがやき」の東京発最終は21時04分で金沢着23時35分になっており、少しは飲める時間も出来そうである。



新幹線開業により、ますます首都圏が近くなり、気軽に行き来できます。また、今まで電車では近くて遠い長野県内へのアクセスが大変便利になります。

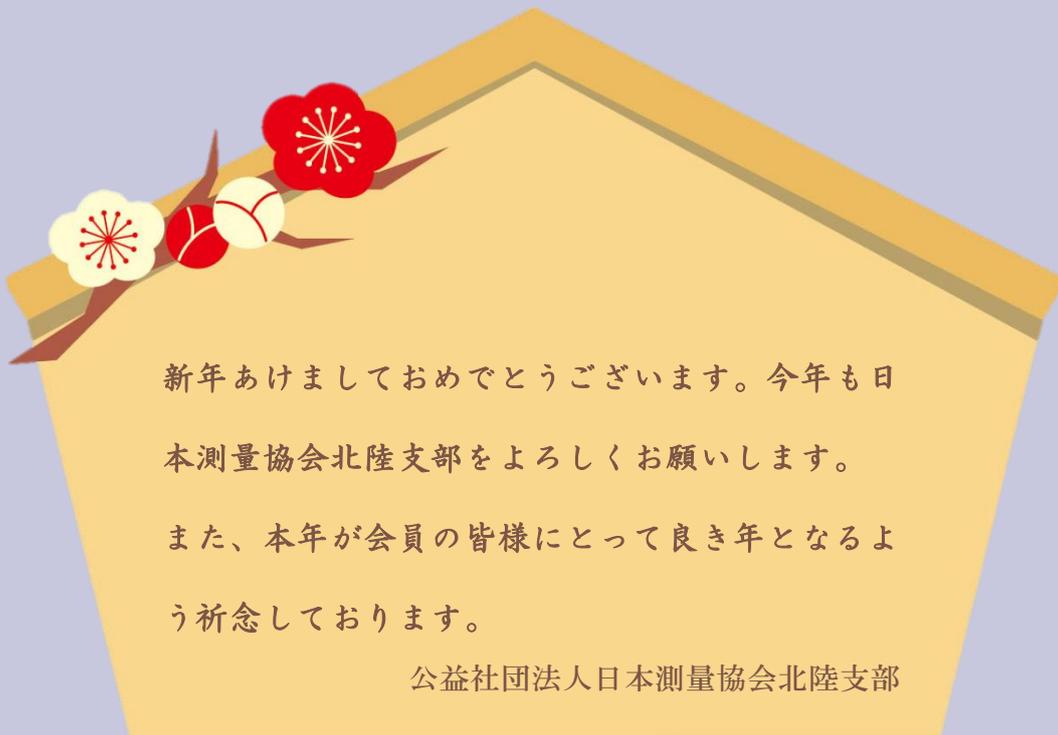
なお、運賃・普通指定席料金は、東京・富山間が6,480円・6,250円の12,730円、東京・金沢間が7,340円・6,780円の14,120円となっています。

北陸新幹線のルート・停車駅



	金沢	新高岡	富山	黒部宇奈月温泉	糸魚川	上越妙高	飯山	長野	上田	佐久平	軽井沢	安中榛名	高崎	本庄早稲田	熊谷	大宮	上野	東京
かがやき 金沢～東京駅間 (速達タイプ) 10往復	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
はくたか 金沢～東京駅間 (停車タイプ) 14往復	●	●	●	●	●	●	■	●	■	■	■	■	■	■	■	■	●	●
金沢～長野駅間 (停車タイプ) 1往復	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●
つるぎ 金沢～富山駅間 (シャトルタイプ) 18往復	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●

● 停車 ■ 一部停車



【表紙の写真】

「勝山左義長まつり」

福井県勝山市の「左義長」は、2月の最終土曜、日曜に開催しています。

勝山市街地の各町内に12基の櫓を建て、その上で赤い長襦袢姿の大人たちが子供を交え、独特のおどけ仕草で三味線、笛、鉦による軽快なテンポの囃子にのって浮かれます。この様は全国で「勝山左義長」だけの特徴であり、人々はこれを奇祭と呼んでいます。写真は子供ばやしコンクールの様子



編集・発行

公益社団法人 日本測量協会 北陸支部

〒939-8094 富山市大泉本町 1-12-14 (測量会館内)

- 事務局 ・TEL 076 (422) 3305 ・FAX 076 (422) 3403
E-mail hokuriku@jsurvey.jp
- 技術センター ・TEL 076 (421) 5445 ・FAX 076 (422) 3403
E-mail hokuriku@geo.or.jp